

## 第 105 回日本泌尿器科学会総会シンポジウム報告

第 105 回日本泌尿器科学会総会

会長 中川昌之教授 開催地 鹿児島

男女共同参画委員会企画プログラム / 指導医指定コース

日時 2017年4月22日(土曜日) 15:40-17:00 80分

テーマ

「次世代の医師へのワーク・ライフバランスとダイバーシティーの推進を考える」

座長 荒井陽一先生、小島聡子先生

演者

- 1) 日本泌尿器科学会男女共同参画委員 高橋さゆり先生  
「医師としてのワークライフバランスを考えるー第81回日本泌尿器科学会東部総会シンポジウムより」 15分
- 2) 鹿児島大学男女共同参画推進センター 増田美奈先生  
「鹿児島大学での取り組み」 15分

基調講演

- 3) 長崎大学 病院 メディカル・ワークライフバランスセンター 伊東 昌子教授  
「ワーク・ライフバランスとダイバーシティーの推進の取り組み」 30分

討論 20分

報告事項

土曜日の午後という時間帯、教育講演とのバッティングもあり参加者は比較的少なく、30人前後であったが、鳥取大学 武中教授を始め泌尿器科学会重鎮の参加者が多かった。3人の演者の先生方に講演いただいた。2016年泌尿器科学会東部総会でのシンポジウムでのワークライフバランスについて考えるを封切りに、鹿児島大学での男女共同参画推進センターの取り組みについて鹿児島

大学 増田美奈先生にお話しいただいた。さらに長崎大学 病院 メディカル・ワークライフバランスセンター 伊東 昌子先生には、長崎大学での取り組みを中心にダイバーシティーの推進の取り組みをどのように行っていくかというお話しをいただいた。今後学会をさらに活性化させるには、男女ともに医師それぞれの働き方をニーズに合わせて検討していく必要がある。そのためには多彩な働き方を検討していかなければならない現状であった。これを踏まえて泌尿器科学会では学会会員に大規模アンケート調査を行っていく予定である。